

第24期

ゆりの木北自治会総会

日時 4月23日 (日)

午前10時～12時 (予定)

会場 赤塚新町小学校 体育館

総会終了後、懇親会を行います

ゆ り 北

第256号 (23期 第10号)

光が丘ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

TEL 03-3977-0228

発行責任者 塩 原 継 雄

もうすぐお手元に届きます

「ゆり北防災マニュアル」改訂版



東海地震と並んで首都圏でもマグニチュード七クラスの大地震は、いつどこで起きてもおかしくないほど切迫した状態と言われています。自治会役員が中心となって活動している「ゆりの木北住民防災組織」では小冊子『予想される大地震に備えて―ゆり北防災マニュアル―』を製作中です。これは十年前に配布した『ゆり北防災活動マニュアル』の改訂版ですが、今回は住民の皆さんが事前に、または地震発生後にどのように

行動したらいいのかを中心にとまとめています。幸い、ゆり北団地周辺の地盤は安定していて、建物自体の倒壊は考えにくいと言われています。各戸内で準備を怠らなければ被害を最小限に押さえることも可能です。この冊子では三つの心構え「どこにいてもまず自分や家族の身の安全を最優先に」「いつになるかわからない救援に頼らない」「自宅で避難生活が送れる十分な備蓄を」を基本に、必要な対

予想される  
大地震に備えて

ゆり北防災マニュアル

改訂版



ゆりの木北住民防災組織

ゆり北恒例「お花見」へのお誘い

日時 四月二日 (日)

午前十一時～午後三時

場所

光が丘公園キャンプ広場

紅白幕と緑色の自治会旗

が目印です

参加費無料 (差し入れ大歓迎)

温かい豚汁と出来立ての焼きそば各五十食を用意します (早い者勝ち、売り切れ御免)

雨天の場合は十二号棟集会所洋室で行います

要援護者名簿登録制度

策が書かれています。行政やマスコミで報道されている最新情報もゆり北の実情に合わせて取り入れていきます。四月の自治会総会までに全世帯に配布する予定です。ぜひ御一読ください。ゆりの木北住民防災組織

昨年十二月から、板橋区の要援護者名簿登録制度が始まりました。これは、高齢者や障がい者など災害発生時に自力での避難が困難な方 (要援護者) を地域全体で支援するための制度です。要援護者本人またはその家族などの申請に基づき、区が援護の必要な方を把握し、名簿を作成します。この名簿を区や警察署・消防署・住民防災組織 (自治会・民生委員などの支援機関・団体が共有し、災害時における安否確認などの支援に備えようというものです。阪神・淡路大震災のとき、救助活動に当たったのは近隣の人が六割というデータがあります。ゆりの木北住民防災組織 (自治会) としても、災害時にはわが家の安全を確認した後、ゆり北全戸の安否を確認する方法を検討していますが、地震の規模、時間帯によっては万全の態勢がとれない状況も想定されます。また安否確認後の対応についても困難が予想されます。この新しい制度の利用も検討してみたいかがでしょうか。お問い合わせは、自治会役員または板橋区総務部防災課危機管理室 (電話 三五七九・二一五二) まで。

よしや前に駐輪場新設

都市再生機構が要望書に回答

ゆりの木北自治会では、毎年、賃貸住宅棟の状況を調査し、都市再生機構 (以下、機構といいます) に対して修理・改善を要望しています。今年度も、昨年六月に調査、八月に要望書を提出、九月三十日に機構東京北住宅管理センターから回答を得ました。回答の概要およびその後の修繕工事等進捗状況は次の通りです。①一号棟の駐車禁止標識とチェーンが錆びていたため、置石型の標識に更新しました。②一号棟エレベーターホールの案内板兼掲示板が汚れて見苦しいためこれを撤去し、北側壁面に掲示板を新設しました。③十二、十四号棟にエレベーターを、という要望については、建築基準法に抵触する (採光不足の住戸が発生する) ため設置できません。④よしや周辺の駐輪問題は、よしや東側の花壇を撤去し、よしやの東側外壁に沿って駐輪スペースを設け、自転車整理・整頓を申し入れます。

⑤ゆりの木商店街広場の花壇の整備は、前項の工事の際に排水等内部構造を調査した上で改善策を提案します。⑥商店街広場のタイルに水たまりができやすいという指摘については、一般的に多くの団地で使われているタイルであり改修の予定はありません。(自治会としては、傾斜面等滑りやすい箇所を優先に、滑り止め塗装等の対応を要請していきます。) ⑦電気容量の四〇アンペア化工事は四月五日までに終了する予定です。契約手続き等は別途通知します。⑧駐輪スペースについては、分譲住宅の駐輪有料化が具体化する時期に合わせて、賃貸棟でも機構マークの自転車シールを配布し、台数の把握を図ります。(分譲住宅では、平成十五年五月の管理組合総会で駐輪場の有料化が決議されましたが、その後具体的な動きはないようです。) ⑨来客用駐車場は、設置場所の確保が困難なため検討事項とします。住宅対策部

板橋区要援護者名簿登録申請書兼外部提供同意書

|            |                           |
|------------|---------------------------|
| 住 所        | 板橋区                       |
| ふりがな       |                           |
| 氏 名        |                           |
| 生 年 月 日    | 明治・大正・昭和・平成 年 月 日生        |
| 電 話 番 号    |                           |
| ファックス番号    |                           |
| 同居者の有無     | いる・いない (※該当する方を○で囲んでください) |
| 自力避難が困難な理由 |                           |

平成 年 月 日

板橋区長

私は、板橋区要援護者名簿に登録を希望するので上記のとおり申請します。なお、本申請により登録される私の情報を記載した名簿について、災害対策での活用を目的に、下記支援機関へ事前に提供されることに同意します。

| 所轄警察署                    | 所轄消防署                    | 所管消防団                    | 居住管内住民防災組織               | 居住管内担当民生委員               |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

(※名簿の提供先は選択制です。名簿を提供してもよい支援機関には○を付けてください。○が付いていない支援機関には提供されません。)

申請者本人署名

代理署名 (捺印) (※本人が直筆できない場合または未成年の場合は、代理の方の署名をお願いします。なお、代理署名者名及び続柄については名簿に登録されません。)

## 巣箱の掃除を待っていた

### 「シジュウカラ」

「ツープーツーピーツープーツー！」と鳴くのはシジュウカラ。今、巣作りの真っ最中です。

シジュウカラはほつぺたが白、胸に黒ネクタイをつけたおしゃれな小鳥です。大きさはスズメと同じくらいですが、スズメよりも警戒心が強いのでちょっと見つけにくいかも。でも光が丘公園やゆり北団地にもたくさん住んでいて林の中を飛び回っています。

そんなシジュウカラ用の巣箱を新町小の子供達が作って、学校の校庭や団地、新町公園の木にかけたのは四年前。その後どうなっているかを光が丘野鳥の会の会員二人に同行してもらい調べてみました。

巣箱の屋根蓋を開けてみると、箱の底にはふわふわした巣が敷き詰められています。厚さは約7cm。取り出してみるとその殆んどは苔、少しづつ運んで敷き詰めたもの。中には動物の毛を敷いた巣もあります。ところがこれら古い巣には虫がわき、小鳥が嫌って巣に使わないので、全て取り出し廃棄処分します。

調査の結果、新町小校庭に十二個、団地内に三個、新町公園に七個の巣箱がありました。その内、新町公園の五個はカラスの仕業か巣穴が多きく拡大されていたので、はずして持って帰りました。

野鳥の会の会員の話では小鳥の巣箱は、虫がわいたり、蛇の巣になる

## 地域で 子どもを見守りたい

「いたばし子ども見守り隊の協力員にならない？」

先月、自治会会長の塩原さんから声をかけられました。常々赤塚新町小学校を「うちの学校」と呼び、自分の母校より愛しているつもりですが、毎日二回、決められた時間に通学路に立つという自信がなく、ためらっておりました。でも、できる時にできる範囲でいいからという言葉に甘えて参加することにしました。

三月六日（月）、薄緑色の腕章と首から下げる名札をいただいて児童朝会での対面式に臨みました。赤塚新町小の協力員として登録した人は三十三名（うちゆり北居住者は十四名）とのことですが、この日の出席者は十七名でした。全員が体育館の舞台上がって自己紹介をしました。その後、校長先生から委嘱状を受け取り、ひとりずつ写真を撮りました。子どもたちに見守り隊のお



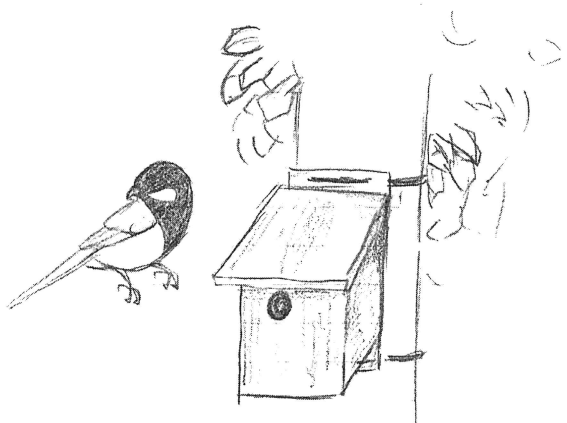
「子ども見守り隊」は私たち

じさん、おばさんの顔を覚えてもらえるように、この時の写真が廊下に貼ってあるそうです。

三月十三日（月）には区立文化会館大ホールで、いたばし子ども見守り隊発足式と防犯講習会が開催されました。区長・教育長ほかの挨拶によれば区立小学校五十四校で協力員総数は三千六百四十九名（一校平均六十七名強）に上り、当初の各校

ので、本来一年に一回（二月頃）掃除するものだそうで、来年はぜひ子供たちにも呼びかけて一緒に巣箱の掃除をやればいいなと思います。掃除がすんだ団地内の巣箱の一つには、すでにつがいのシジュウカラが住み着いています。その巣がどこか見つけてみて下さい。

文化部



## 私の「H」活動（その二）

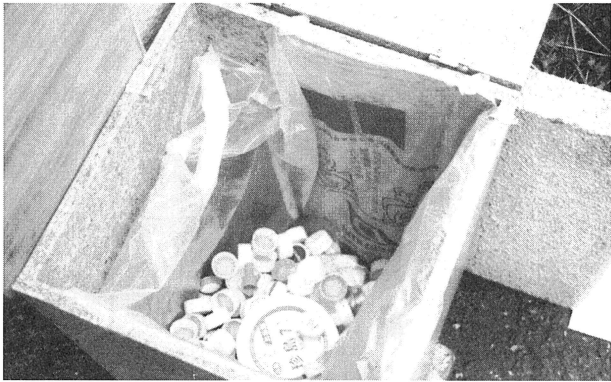
市東 隆光

平成十五年十一月、私はゆり北十一号棟に引越してきました。私は生まれ育った豊島区で三十年位ゴミ減量に携わってきたのでゴミに関心がありました。この団地に来て気づいたのは、二十四時間何時でも他人の目を気にせずゴミを出せるためか、ゴミの分別がきちんとされていないこと、ペットボトル、発泡スチロールのトレイ、牛乳パック、ビン・缶、紙などの資源がゴミとして捨てられ、それがゴミの量を多くしているということでした。そこで、十一号棟前のゴミ集積所で週二、三回、ゴミと資源の分別作業を始めました（このことは、昨年、会報「ゆり北」に書かせていただきました）。資源の中でもペットボトルは、回収場所がよしやの店頭に限られていたためかゴミとして捨てられる量が多く、これを除けば燃やさないゴミの三分の一は減るのです。

一方、昨年三月、新聞報道からペットボトルのキャップが資源として利用できることと杉並区で回収を始めたことを知りました。早速自治会生活環境部の役員に話を持ちかけ、役員会で検討していただいた結果、ゆりの木夏まつりの会場で試しに回収してもらえることになりました。一か月前の会報にお知らせが掲載され、周知の方法・期間とも十分とは思われませんでした。一七kg（約六、五〇〇個）のキャップが集まり手応えを感じました。

この成果を踏まえ、昨年十二月から板橋区のペットボトルモデル回収事業が開始されるのに合わせて、キャップの回収も始めることになりました。各ゴミ集積所に専用回収箱を設置しました。回収作業を行うPP（ポリプロピレン）キャップ・リサイクル・ボランティアも募集しました。ペットボトルは十二月二八七kg

六号棟 Y子



「ペットボトルキャップ回収箱」

一月三三九kgが回収され、それも綺麗に濯いだボトルが出され業者に喜ばれていると区の担当者からお褒めの言葉がありました。キャップは二か月で一三〇kg（四三、五〇〇個）を回収しました。

## 囲碁将棋クラブ

### 会員募集中



昨年八月、「ゆりの木囲碁将棋クラブ」が誕生してから十六回の集会を続けてきました。この間の参加者（延べ人数）は、大人一六六名、中学生以下一四三名、合計三〇九名と大盛況でした。

五歳から八十二歳までの対局者が盤を前に向い合って「お願いします」に始まり「有難うございました」で終る光景は、年齢差や実力差をこえた人と人とのつながりの出発点を見る思いです。回を重ねるなかで子供と子供、子供と大人の交流もお互いの成長の力テとなっています。年少の子は、「負けても泣かずにガマンする」「人の話をよく聞く」ことが出来るようになったり、泣いている子を幼い子が慰めたりする一方では、高齢者と対局している子が戦局不利となつて口惜しさの余りつく悪態に、



囲碁熱戦？風景

年寄りも刺激をうけたりしながら楽しんでいきます。  
毎月第一、第三土曜日午後一時から六時まで、十二号棟集会所で活動しています。興味がある方はぜひ覗いてみてください。  
囲碁将棋クラブ代表 中村 達



東京都のゴミ埋め立ては既に限界に近づいており、都は平成二十年にはプラスチックゴミの全てを焼却処理する計画を進めていると聞いています。ゴミ問題は将来にわたる環境問題であり、限りある資源を有効に利用し、子孫へ引き継ぐべきだと考えます。  
この一年を振り返ると少しづつゴミ出しマナーも良くなり、集積所も綺麗になりました。協力者も増えました。お正月明けのゴミ集積所も溢れるほどではなく、心配なく年始の収集日を迎えられるように思います。資源として活かせるものは一つでも多く分別されるように、皆様のご協力をお願い申し上げます。